

横浜平和宣言

1945年5月29日9時20分

78年前、この横浜の街は43万8000個余りの焼夷弾により廃墟と化し、8000人以上の多くの尊い命が犠牲になりました。

今の日本、横浜は平和で安心して暮らせる街です。それは戦後、多くの人たちの努力と、2度と悲惨な戦争を繰り返さないという強い意志のおかげです。

しかし戦後78年を迎えた現代において、戦争は過去のこと、自分とは関係のないことと考える人が増えています。私たちも学校で勉強するまで横浜で大空襲があったこと、そしてこの慰霊堂があることを知りませんでした。

世界に目を向けるとロシアがウクライナ侵攻をしています。学校も爆撃され私たちと同じくらいの年齢の子どもが犠牲になっています。これはテレビの中、遠い国で起きている出来事ではありません。78年前の日本でも起きていたことです。

戦争体験者の高齢化が進むなか、私たちが平和学習を通して身につけた知識、体験者の思いを受け継いでいかななくてはなりません。そして先人が私たちに戦争のない安心して暮らせる「平和」を残してくれたように、次の世代にこの「平和」をつないでいきます。

私たち茅ヶ崎中学校生徒一同は2度と悲惨な戦争を繰り返さないために、3つのことをここに宣言します。

- 一、問題解決の手段として、暴力ではなく話し合いを用います。
- 一、困難に出会ったときは友達と協力して乗り越えていきます。
- 一、これからも戦争についての知識を深め、学んだことを次の世代に伝えていきます。

私たちが住むこの街がかつて大きな悲しみに包まれたことを忘れません。

今あるこの平和を永遠に守るために、ここに手を取り合うことを誓います。

令和5年2月17日

横浜市立茅ヶ崎中学校 生徒一同